



目標 家族でコミュニケーションがとれる

- わが市の課題**
- ・家族でばらばらの食事(市民グループワークより)
 - ・「1日に1回以上家族と一緒に食事をする」(県民健康栄養調査)
15～19歳 70.7%、20～29歳 71.4%、70歳以上 76.2%
 - ・「健康をよりよくすることについて家族はあまり協力してくれない」の割合
女性:40歳代が最も高い 37.5%(旧綾歌町) 46.9%(旧飯山町)
男性:20歳代が最も高い 37.5%(旧綾歌町) 29.2%(旧飯山町)

みんなの役割	内容	取り組む主体
市民一人ひとりや 家庭で取り組むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・1日1回家族で食卓を囲む ・安心して過ごせる家庭(家族)がある ・あいさつを習慣づける ・家族で地域の催しに参加する 	家庭 家庭 個人・家庭 家庭
地域や職域で 取り組むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ運動推進に協力 ・家族で参加できる催しをする ・職場で家族も参加できる催しをする 	コミュニティ・住民団体 コミュニティ・住民団体 事業所
行政が 取り組むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ運動を推進する ・家庭の日(毎月第3日曜日)、みんなで子どもを育てる日(毎月第3土曜日)を普及する ・家族で参加できる催しの開催、コミュニティを支援する ・心の健康づくり事業を推進する 	少年育成センター 少年育成センター 生活課・健康課等 健康課

目標年次(平成28年度)の評価目標

- ・「健康をよりよくすることについて家族はあまり協力してくれない」という人の割合の減少
- ・1日に1回以上家族と一緒に食事をする人の増加

備考